

「平成 21 年度 幻の都・恭仁京と名宝・加茂の三塔を活かした 民学官による観光まちづくり」の実施報告

昨年度に引き続き、内閣府「地方の元気再生事業」を活用した、「幻の都・恭仁京と名宝・加茂の三塔を活かした民学官による観光まちづくり」の取り組み結果は以下の通りです。

1. 観光地としての知名度アップに向けた取組

項目	今年度実施内容
幻の都恭仁京を核とした観光戦略の推進	短期的、および中長期を見据えた観光振興の戦略について検討した。
NPO ガイド及び観光キャンペーン（ポスター）との連携	木津川市の観光PRに資するポスターのイメージ作成し、12/19(土)～1/15(金)に JR・近鉄各駅においてポスター設置した。 また、市民に PR するため、地元ケーブルテレビ番組を活用し、NPO ガイドと一緒に番組作成を行い、コミュニティバスの利用促進と、地元観光資源について PR を図った。 
観光振興を担う組織づくりの検討	旧町単位で継続して立ち上げていた、観光協会を解消し、新たなボランティアを中心に、市民や観光客に対して持続可能な情報提供やイベント等の実施により、観光が産業として成り立つよう、社団法人として観光協会の設立及び観光案内所が開設した。 
オーディオ戦略を活かした観光サイトの立ち上げ	上記観光協会の設立にともない、木津川市全域の観光案内ホームページが開設した。 
古都の魅力を高めリピーターを増やすための修景の検討	寺院周辺の修景デザインの作成を行い、今後の修景についての意見交換だけでなく、加茂の三塔の各寺住職との意見交換会を行った。また、昨年度アンケートで意見のあった「トイレの改修」について、寺院や周辺環境を配慮したデザインの、トイレの設置を行った。 

2. 観光客・地域住民を対象とした地域公共交通の充実・活用

項目	内容
魅力創出による通年需要の掘り起こし	急行バスの運行にあわせ、PR ポスター等を作成し、隣接する奈良市内のホテル・旅館・観光案内所等、約 70 箇所で開催・配布を行った。また、旅行雑誌各社へ、急行バスの PR 案内及び木津川市の観光パンフレットを送付した。 
近隣観光地からのアクセス改善の社会実験の実施	奈良～加茂地域間のバス運行について、アクセス改善するためにサービスレベルの検討及び社会実験を実施した。(右の写真はバスの方向幕。) 
コミュニティバスの利便性向上による地域住民の需要喚起	毎月発行している公共交通だよりにより、地域の観光情報等を掲載し、地域住民の利用促進を図った。 
新たな回遊ルートの発掘・充実	公共交通と連携した新たな回遊ルートを発掘・マップを作成した。 